

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業研究費

事業名 【新】中山間農業研究所調査収納舎屋根改修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 中山間農業研究所 電話番号：0577-73-2029

E-mail：c24402@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,578 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,578	0	0	0	0	0	0	0	10,578
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

中山間農業研究所（本所）調査収納舎は、建築から 54 年が経過し（昭和 46 年竣工）老朽化が進行している。特にトタン葺きの屋根の老朽化は著しく、これまでに塗装修繕工事を実施しているが、その後 10 年が経過し、所々に発生した錆による腐食が進み雨漏りが発生しているとともに、軒先は腐食で破損している状況である。（塗装修繕工事：平成 18 年度、平成 27 年度）

調査収納舎は日常的に職員が使用している場所であり屋根裏には電気配線があり、このままの状況では漏水による漏電、火災の危険性及び農業用機械や肥料等が収納、保管されているため故障等の恐れがある。錆びた箇所は、経年劣化でトタン自体が薄くなっており、塗装では対応困難である。例年、1 m 以上の積雪があり、当該施設の倒壊を防ぐため屋根の雪下ろしを行っているが、老朽化した屋根での作業は非常に危険である。今年度実施した建築基準法第 12 条点検に基づく定期点検においても、屋根の劣化及び損傷の状況について指摘を受けている。これらのことから、当該施設の屋根の改修が必要である。

(2) 事業内容

中山間農業研究所（本所）の調査収納舎の屋根改修について令和 8 年度当初予算により工事費を計上する。

・工事請負費 10,578 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

・ 県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	10,578	調査収納舎屋根改修費
合計	10,578	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 後年度の財政負担

無

事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
中山間農業研究所調査収納舎について、令和8年度中に屋根改修工事を実施

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

数値による指標が困難なため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】